

相乗りタクシー実証実験について

1 概要

タクシー運転者不足等により供給力減少が顕在化している夜間において、中心市街地から一定の人口規模のある周辺団地に帰宅する市民を対象に、相乗りタクシーの実証実験を実施する。

2 相乗りサービス概要

- ・令和3年10月に導入された一般乗用旅客自動車運送事業による「相乗りサービス」制度を活用
- ・アプリにより、同じ方向へ移動したい人同士を事前にマッチングし、タクシーに相乗りして移動できるほか、各利用者の運賃算出、決済までアプリで行うことが可能
- ・最適な相乗りの組み合わせと効率的な運行ルート選定に独自開発のAIを活用
- ・利用者向けアプリとドライバー向けアプリは、個人のタブレットやスマートフォンで利用可能

3 運行方法等

- (1) 実証実験名称：タクシー「シェア乗り」実証実験
- (2) 対象エリア：中心市街地エリア内から周辺団地への移動が対象

【乗車場所】 中心市街地エリア内

【降車場所】 人口7,000人以上の団地等

- ・伊敷団地、岡之原団地
- ・伊敷ニュータウン、西玉里団地、伊敷ニュータウンひがし台
- ・玉里団地
- ・原良団地
- ・武岡団地、武岡ハイランド、武岡ピュアタウン、武岡台
- ・西郷団地
- ・星ヶ峯ニュータウン、星ヶ峯南
- ・皇徳寺ニュータウン、南皇徳寺団地
- ・紫原団地
- ・桜ヶ丘団地
- ・吉野地域

(3) 実施期間：令和6年10月1日（火）～12月31日（火）

(4) サービス利用：各日20:30～1:30の5時間の間に発車する移動
対象時間 ※12月31日は24:00まで

(5) 運賃：相乗り人数や移動距離に応じて割り勘（利用者負担）

(6) 運行台数：50台（導入済みアプリと連携して稼働：30台、車載端末をリースして稼働：20台）

4 実証実験により見込まれる効果

- ・タクシー需要集中時（終電・終バス後や悪天候時など）の運行の効率化
- ・配車業務のシステム化、キャッシュレス化による運行の効率化
- ・営業車両の効率的な配車とタクシー実車キロ及び実車率向上による生産性の向上
- ・利用者の待ち時間、費用負担の低減
- ・交通弱者などの新規需要の掘り起こし（配車アプリとしての活用も可能）

【相乗りタクシーアイメージ】

ビジネスモデル

